

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	15	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日	
横断的な課題		地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
地域重点政策		地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
実施機関		南信州地域振興局			担当課	所属	林務課(林産係)	
事業名		地域材利用促進事業				電話	8-237-2435	
						E-mail	minamichi-rimmu@pref.magamo.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	管内の森林は成熟期を迎え、森林資源の循環利用促進が課題となっている。このため、主伐への取組みを加速し、素材生産量を増加させる為に、域内での木材利用を促進し、生活に根差したゼロカーボンの取組みを進めることを目的とする。						
	現状と課題	南信州管内で生産される木材のおよそ8割が管外へ搬出され、域内利用が進んでいない状況となっている。一方、森林資源の循環利用をすすめる為に、主伐による素材生産を増加させていくことが必要である。県では、木材利用をすすめる為に、生活の中に木材を取り入れるウッドチェンジを普及しているが、理解が進まず、地域へはまだ浸透していない。そこで、地域へウッドチェンジの普及を図り、実践することで木材の域内利用を促進し、資源の循環利用を進めることで主伐の推進、地域に根差したゼロカーボンの取組みの活性化を図ることが課題となっている。また、ウッドチェンジのツールである木製品情報が地域へ浸透していないので管内、管外への広い普及が求められる。						
	内容 (変更後の内容)	ウッドチェンジの普及・推進に向け、地域住民が木製品を目にし、手に触れることで、その価値を認識してもらう知る場を創るために、管内の木工業者や工房、販売店などが出店するマルシェを開催する場を提供するとともに、SNSや広報媒体を利用して地域へ開催の広報を行う。 マルシェでは広い年代に木の良さに気付いていただくために、木製品の展示以外にも積木や木工工作といった体験ブースの設置やパネル展示をして気付きのきっかけ作りを行う。 【内容】 開催日 R7.3.2(日) 開催場所 道の駅 南信州とよおかマルシェ 出展数 10者						
	事業期間	令和6年12月 ~ 令和7年3月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画額	備考		
	暮らしの中の木製品市 開催		道の駅南信州とよおかマルシェで木製品の展示や木工体験のできるマルシェを開催		1,363,768	報償費:376,600(講師謝礼) 使用料:219,186円(会場使用料等) 需用費:464,382円(のぼり旗・木工キット等) 役務費:303,600円(広告宣伝費)		
	合 計				1,363,768			
指標及び達成状況	成 果 指 標				目標値	成果	達 成 状 況	
	木製品市来訪者				500名	2,000名	達成	
	来場者アンケートで地域材に興味・関心をもったと回答した人の割合				40%	86%		

事業実績・成果	令和7年3月2日(日)に道の駅 南信州とよおかマルシェで午前10時から午後3時まで、初めて『暮らしの中の木製品市』を開催したところ、当初の見込みを大幅に上回るおよそ2,000人の来場があった。出展ブースは10者であったが、暮らしの中にある木材ということで薪ストーブや薪割機のデモンストレーション、ゼロカーボンの取組みを紹介するパネル展示、木製ゲームの体験コーナーを設けることで幅広い世代、性別の来場となった。中でも木工体験コーナーは多品目を設定することで家族連れを中心に、高齢のご夫婦連れなどに熱心に取り組んでいただくことで、滞在時間が長くなり、出展者と会話を楽しみつつ木製品に触れたり、つみきコーナーでじっくりと遊ばせる来場者が多く見受けられ、アンケートに「大人も子ども楽しめるイベントだった」「1日楽しめるイベントだった」との回答を得られた。結果として、地域材に興味を持った、かなり持ったと回答した方が全体の86%を占め(回答数50)、地域での木材利用促進のきっかけ作りに寄与できたと考えられる。
今後の方向性	木製品に触れてもらう場づくりを初めて行ったが、次年度も、引き続ききっかけ作りを行いながら、併せて木製品の製品や生産者情報、販売店などの情報提供を進め、ウッドチェンジの取組みの推進を図っていく。 具体的には、今回来場者アンケートにあった木製品に対する「地産地消」、「環境にやさしい」といったイメージの向上と、「価格が高い」、「どこで買えるか分からない」といった声に応えるように、付加価値を理解してもらうよう直接生産者と交流する場づくりをつくるよう出展数を増やし、より多種多様な木製品を展示し、市の内容の充実を図る。